

ダイワ新グローバル・ ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

運用報告書 (全体版) 満期償還

(償還日 2023年8月18日)

(作成対象期間 2023年2月21日~2023年8月18日)

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	追加型投信/内外/その他資産 (ハイブリッド証券)	
信託期間	2015年8月19日~2023年8月18日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5668>
<5669>

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		騰落率	公社債組入比率	投資資産 信託証券 比率	純資産総額
		税金	分配金				
	円	円	円	%	%	%	百万円
12期末 (2021年8月18日)	10,072	300		2.2	—	99.0	3,306
13期末 (2022年2月18日)	9,518	130	△	4.2	—	99.2	2,933
14期末 (2022年8月18日)	8,910	145	△	4.9	—	99.1	2,501
15期末 (2023年2月20日)	8,652	155	△	1.2	—	99.0	2,338
償還 (2023年8月18日)	7,602.62	—	△	12.1	—	—	1,233

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：7,602円62銭（既払分配金2,785円）

騰落率：0.7%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

世界の金融機関（関連会社等を含みます。以下同じ。）が発行するハイブリッド証券に投資した結果、金融ハイブリッド証券市況は上昇しましたが、保有銘柄が下落したことや為替ヘッジコスト等の影響から、基準価額はおおむね横ばいとなりました（分配金再投資ベース）。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 信 託 証 券 率
	騰 落 率	率		
(期首) 2023年2月20日	円 8,652	% -	% -	% 99.0
2月末	8,601	△ 0.6	-	98.9
3月末	7,476	△13.6	-	99.2
4月末	7,576	△12.4	-	99.0
5月末	7,554	△12.7	-	99.3
6月末	7,581	△12.4	-	99.1
7月末	7,608	△12.1	-	6.1
(償還) 2023年8月18日	7,602.62	△12.1	-	-

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

(2015.8.19～2023.8.18)

■金融ハイブリッド証券市況

金融ハイブリッド証券市況は上昇しました。

金融ハイブリッド証券市況は、当ファンドの信託期間において上昇しました。資産別では、全般的に上昇する中、株式市場との連動性が高いC o C o債（※1）が最も上昇しました。

海外債券市場では、当ファンド設定時から2018年後半にかけて、世界的な金融危機後の大規模な金融緩和政策から正常化に向かう過程で主要国における金融引き締めが実施されたことなどから、金利は上昇しました。しかし、世界的な物価安定を背景に金利は低下傾向に転じ、2020年2月には、新型コロナウイルスの感染急拡大を受けた景気後退や企業破綻に対する警戒感などを背景に、世界的に大規模な緊急利下げが実施されたことなどから、金利は大きく低下しました。2020年後半からは、米国の大規模な財政支出や新型コロナウイルスのワクチン接種の進展を背景に金利は上昇基調に転じました。2022年前半のウクライナ情勢の緊迫化などにより低下する場面も見られたものの、インフレ率が歴史的な水準まで高進し、主要中央銀行が金融引き締めを継続したことや景気の底堅い推移を背景に、償還期末にかけて金利は上昇基調を継続しました。

信用スプレッドは、当ファンド設定時から2020年2月にかけて、堅調な欧米の株式市場や、複数の欧州金融機関による起債が順調に消化されたことなどが好感され、縮小しました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大や世界的な金融引き締め観測、ウクライナ情勢の緊迫化、欧州金融不安などの局面では大きく拡大しました。償還期末にかけては、信用不安の後退や堅調な経済指標などを背景に投資家心理が改善したことから縮小基調で推移しました。

※1 C o C o債：特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（C o C o条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

主として、「ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）」の受益証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）：A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

信託期間中のポートフォリオについて

(2015.8.19~2023.8.18)

■当ファンド

当ファンドは、「ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。信託期間を通じて「ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）」への投資割合を高位に維持しました。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

G-SIFIs（※2）を中心に、利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行いました。資産別では、C o C o債や米国優先証券を中心にファンダメンタルズ対比で割安な銘柄に投資を行いました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

※2 G-SIFIs：金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な金融機関。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

1万口当り、第1期130円、第2期230円、第3期200円、第4期215円、第5期190円、第6期165円、第7期175円、第8期205円、第9期210円、第10期150円、第11期185円、第12期300円、第13期130円、第14期145円、第15期155円の収益分配を行いました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項目	当期 (2023.2.21~2023.8.18)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	49円	0.634%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7,689円です。
（投信会社）	(17)	(0.216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(31)	(0.404)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合計	49	0.634	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

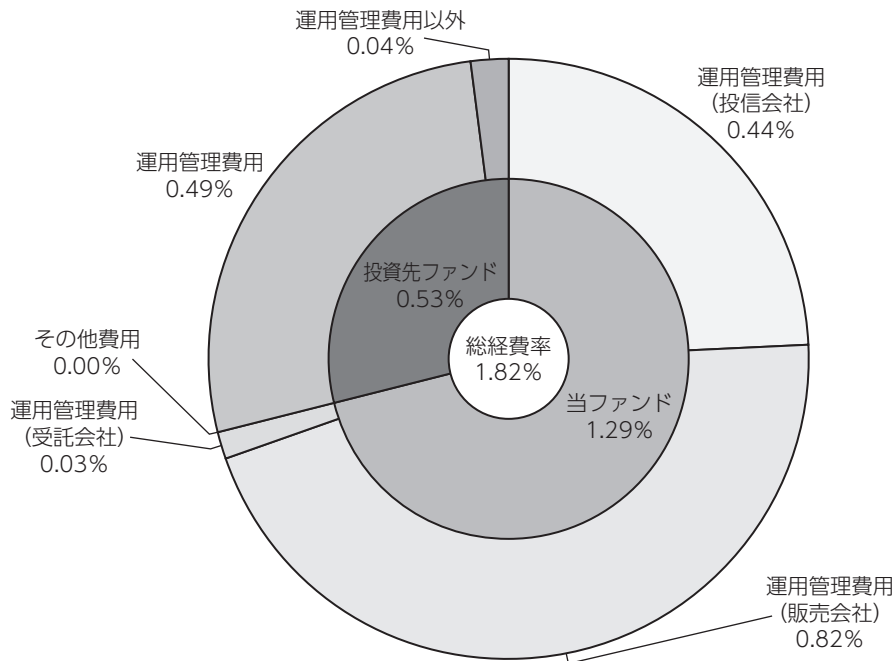
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



総経費率 (①+②+③)	1.82%
①当ファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2023年2月21日から2023年8月18日まで)

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国 内	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	-	-	2,479,230.113 (116,501.396)	1,903,000 (89,407)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年2月21日から2023年8月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
	-	-	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	期 首
	□ 数
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年8月18日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	1,266,004	100.0
投資信託財産総額	1,266,004	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月18日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	1,266,004,599円
コール・ローン等	1,266,004,599
(B) 負債	32,464,089
未払解約金	20,459,917
未払信託報酬	11,998,037
未払利息	6,135
(C) 純資産総額(A - B)	1,233,540,510
元本	1,622,520,076
償還差損益金	△ 388,979,566
(D) 受益権総口数	1,622,520,076口
1万口当り償還価額(C / D)	7,602円62銭

*期首における元本額は2,703,334,471円、当作成期間中における追加設定元本額は4,634,305円、同解約元本額は1,085,448,700円です。

*償還時の計算口数当りの純資産額は7,602円62銭です。

*償還時の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は388,979,566円です。

■損益の状況

当期 自2023年2月21日 至2023年8月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	36,195,780円
受取配当金	36,266,740
受取利息	117
支払利息	△ 71,077
(B) 有価証券売買損益	△194,323,634
売買益	34,423,724
売買損	△228,747,358
(C) 信託報酬等	△ 11,998,037
(D) 当期損益金(A + B + C)	△170,125,891
(E) 前期繰越損益金	△219,215,655
(F) 追加信託差損益金	361,980
(配当等相当額)	(3,764,867)
(売買損益相当額)	(△ 3,402,887)
(G) 合計(D + E + F)	△388,979,566
償還差損益金(G)	△388,979,566

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2015年8月19日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年8月18日		資産総額	1,266,004,599円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	32,464,089円
				純資産総額	1,233,540,510円
受益権口数	8,014,571,959口	1,622,520,076口	△6,392,051,883口	受益権口数	1,622,520,076口
元本額	8,014,571,959円	1,622,520,076円	△6,392,051,883円	1単位当り償還金	7,602円62銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	11,354,491,675	10,832,860,115	9,541	130	1.30
第2期	11,427,051,697	11,269,377,881	9,862	230	2.30
第3期	9,249,881,181	9,093,677,652	9,831	200	2.00
第4期	7,591,021,109	7,876,110,833	10,376	215	2.15
第5期	6,816,529,615	7,107,868,675	10,427	190	1.90
第6期	5,926,722,084	5,831,135,846	9,839	165	1.65
第7期	5,042,967,252	4,850,575,425	9,618	175	1.75
第8期	4,496,025,165	4,448,235,049	9,894	205	2.05
第9期	4,110,341,617	4,244,018,431	10,325	210	2.10
第10期	3,883,030,250	3,794,462,482	9,772	150	1.50
第11期	3,489,540,424	3,541,010,436	10,147	185	1.85
第12期	3,283,411,289	3,306,950,311	10,072	300	3.00
第13期	3,082,535,539	2,933,983,080	9,518	130	1.30
第14期	2,807,054,054	2,501,026,531	8,910	145	1.45
第15期	2,703,334,471	2,338,896,343	8,652	155	1.55

(注) 1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ	
1万口当り償還金	7,602円62銭

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税分		騰落率		公社債組入比率	投受組 資益入	信託証 比率	純資産額
		込	金	期	中				
	円	円	円	騰	率	%	%	%	百万円
12期末 (2021年8月18日)	9,692	255		5.1		—		99.2	809
13期末 (2022年2月18日)	9,536	125		△0.3		—		98.5	792
14期末 (2022年8月18日)	10,060	350		9.2		—		99.0	781
15期末 (2023年2月20日)	9,903	300		1.4		—		99.0	749
償還 (2023年8月18日)	9,474.87	—		△4.3		—		—	227

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：9,474円87銭（既払分配金2,860円）

騰落率：28.1%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

世界の金融機関（関連会社等を含みます。以下同じ。）が発行するハイブリッド証券に投資した結果、為替相場が対円で上昇（円安）したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました（分配金再投資ベース）。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 信 託 証 券 率
	騰 落 率	率		
(期首) 2023年2月20日	円 9,903	% -	% -	% 99.0
2月末	9,978	0.8	-	98.7
3月末	8,550	△13.7	-	99.7
4月末	8,754	△11.6	-	99.2
5月末	9,078	△ 8.3	-	99.3
6月末	9,501	△ 4.1	-	99.2
7月末	9,482	△ 4.3	-	11.1
(償還) 2023年8月18日	9,474.87	△ 4.3	-	-

(注) 騰落率は期首比。

■金融ハイブリッド証券市況

金融ハイブリッド証券市況は上昇しました。

金融ハイブリッド証券市況は、当ファンドの信託期間において上昇しました。資産別では、全般的に上昇する中、株式市場との連動性が高いC o C o債（※ 1）が最も上昇しました。

海外債券市場では、当ファンド設定時から2018年後半にかけて、世界的な金融危機後の大規模な金融緩和政策から正常化に向かう過程で主要国における金融引き締めが実施されたことなどから、金利は上昇しました。しかし、世界的な物価安定を背景に金利は低下傾向に転じ、2020年2月には、新型コロナウイルスの感染急拡大を受けた景気後退や企業破綻に対する警戒感などを背景に、世界的に大規模な緊急利下げが実施されたことなどから、金利は大きく低下しました。2020年後半からは、米国の大規模な財政支出や新型コロナウイルスのワクチン接種の進展を背景に金利は上昇基調に転じました。2022年前半のウクライナ情勢の緊迫化などにより低下する場面も見られたものの、インフレ率が歴史的な水準まで高進し、主要中央銀行が金融引き締めを継続したことや景気の底堅い推移を背景に、償還期末にかけて金利は上昇基調を継続しました。

信用スプレッドは、当ファンド設定時から2020年2月にかけて、堅調な欧米の株式市場や、複数の欧州金融機関による起債が順調に消化されたことなどが好感され、縮小しました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大や世界的な金融引き締め観測、ウクライナ情勢の緊迫化、欧州金融不安などの局面では大きく拡大しました。償還期末にかけては、信用不安の後退や堅調な経済指標などを背景に投資家心理が改善したことから縮小基調で推移しました。

※ 1 C o C o債：特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（C o C o条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

■為替相場

為替相場は、米ドル・欧州通貨ともに対円で上昇しました。

米ドル円相場は、当ファンド設定時から2016年年央までは、米国長期金利の低下を受けて対円で下落（円高）しました。2016年終盤には米国金利の上昇を背景に急速に上昇したものの、2020年末にかけては、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの世界的感染拡大への懸念などを背景に、おおむね下落基調で推移しました。2021年1月以降は、米国長期金利の上昇を背景に対円で上昇に転じ、その後米国で利上げが開始されると、さらに大幅に上昇しました。ウクライナ情勢の緊迫化や欧州金融不安を背景に下落する場面も見られたものの、F R B（米国連邦準備制度理事会）が金融引き締め局面の長期化を示唆したことを受けて日米金利差が拡大するとの思惑から、償還期末にかけて上昇基調で推移しました。

ユーロ円相場は、当ファンド設定時から2016年年央までは、英国のE U（欧州連合）離脱決定によ

る懸念などから対円で下落しましたが、その後は欧州の金融緩和縮小方針が意識され、上昇に転じました。2018年前半には再び下落基調となりましたが、2020年半ば以降は、インフレ高進を背景とするECB（欧州中央銀行）による金融引締めなどから上昇しました。その後は、米国発の世界的な金融不安から下落する場面も見られたものの、償還期末にかけては、ECBが金融引き締め姿勢を維持する中で日銀が緩和政策を維持したことを受け、米ドル円と同様に金利差拡大の思惑から、上昇基調で推移しました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

主として、「ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）」の受益証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）：ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

信託期間中のポートフォリオについて

(2015.8.19~2023.8.18)

■当ファンド

当ファンドは、「ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。信託期間を通じて「ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）」への投資割合を高位に維持しました。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

G-SIFIs（※2）を中心に、利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行いました。資産別では、C o C o債や米国優先証券を中心にファンダメンタルズ対比で割安な銘柄に投資を行いました。

※2 G-SIFIs：金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な金融機関。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

1万口当たり、第1期125円、第2期175円、第3期220円、第4期140円、第5期180円、第6期155円、第7期170円、第8期155円、第9期200円、第10期140円、第11期170円、第12期255円、第13期125円、第14期350円、第15期300円の収益分配を行いました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項目	当期 (2023.2.21~2023.8.18)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	58円	0.634%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,162円です。
（投信会社）	(20)	(0.216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(37)	(0.404)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合計	58	0.634	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

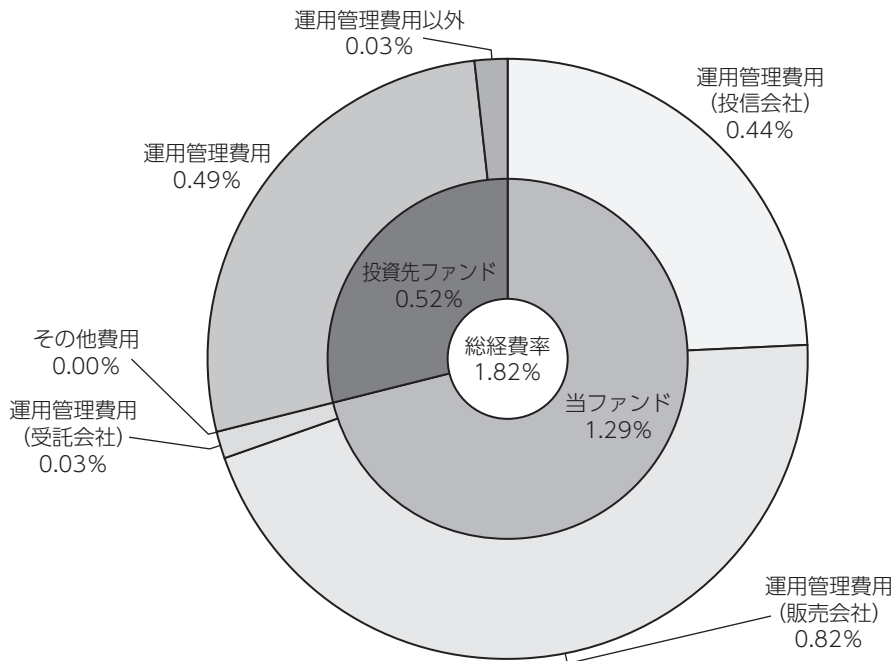
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



総経費率 (①+②+③)	1.82%
①当ファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2023年2月21日から2023年8月18日まで)

国	買付	売付			
		□ 数	金 額		
	千口	千円	千口	千円	
内	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	-	-	679,301.23 (30,887.69)	668,000 (30,372)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年2月21日から2023年8月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	-	-	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	期 首
	□ 数
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年8月18日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 237,587	% 100.0
投資信託財産総額	237,587	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月18日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	237,587,780円
コール・ローン等	237,587,780
(B) 負債	9,654,553
未払解約金	5,741,038
未払信託報酬	3,912,366
未払利息	1,149
(C) 純資産総額(A - B)	227,933,227
元本	240,566,013
償還差損益金	△ 12,632,786
(D) 受益権総口数	240,566,013口
1万口当り償還価額(C / D)	9,474円87銭

*期首における元本額は757,200,200円、当作成期間中における追加設定元本額は8,894,667円、同解約元本額は525,528,854円です。

*償還時の計算口数当りの純資産額は9,474円87銭です。

*償還時の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は12,632,786円です。

■損益の状況

当期 自2023年2月21日 至2023年8月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	7,955,754円
受取配当金	7,971,096
受取利息	129
支払利息	△ 15,471
(B) 有価証券売買損益	△14,088,937
売買益	4,618,582
売買損	△18,707,519
(C) 信託報酬等	△ 3,912,366
(D) 当期損益金(A + B + C)	△10,045,549
(E) 前期繰越損益金	891,908
(F) 追加信託差損益金	△ 3,479,145
(配当等相当額)	(186,358)
(売買損益相当額)	(△ 3,665,503)
(G) 合計(D + E + F)	△12,632,786
償還差損益金(G)	△12,632,786

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2015年8月19日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年8月18日		資産総額	237,587,780円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	9,654,553円
				純資産総額	227,933,227円
受益権口数	2,588,817,401口	240,566,013口	△2,348,251,388口	受益権口数	240,566,013口
元本額	2,588,817,401円	240,566,013円	△2,348,251,388円	1単位当り償還金	9,474円87銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	3,294,175,690	2,930,269,031	8,895	125	1.25
第2期	2,829,068,410	2,289,218,299	8,092	175	1.75
第3期	2,007,119,203	1,820,658,633	9,071	220	2.20
第4期	2,145,374,707	2,062,928,520	9,616	140	1.40
第5期	1,482,423,811	1,438,604,006	9,704	180	1.80
第6期	1,389,957,196	1,277,792,505	9,193	155	1.55
第7期	1,227,643,751	1,107,115,073	9,018	170	1.70
第8期	1,086,647,092	972,716,569	8,952	155	1.55
第9期	968,685,166	932,500,229	9,626	200	2.00
第10期	949,838,889	860,178,108	9,056	140	1.40
第11期	877,209,563	830,420,292	9,467	170	1.70
第12期	835,640,991	809,931,840	9,692	255	2.55
第13期	831,006,764	792,413,576	9,536	125	1.25
第14期	776,596,334	781,248,096	10,060	350	3.50
第15期	757,200,200	749,839,288	9,903	300	3.00

(注) 1単位は受益権1万口。

償 還 金 の お 知 ら せ
1 万 口 当 り 償 還 金
9,474円87銭

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

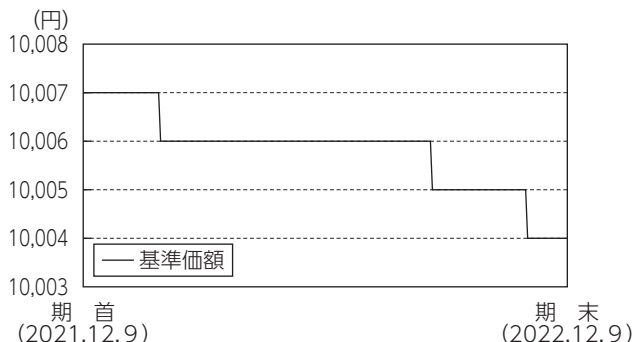
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債組入比率
	騰落率	騰落率	
(期首)2021年12月9日	円	%	%
12月末	10,007	-	-
2022年1月末	10,007	0.0	-
2月末	10,006	△0.0	-
3月末	10,006	△0.0	-
4月末	10,006	△0.0	-
5月末	10,006	△0.0	-
6月末	10,006	△0.0	-
7月末	10,006	△0.0	-
8月末	10,005	△0.0	-
9月末	10,005	△0.0	-
10月末	10,005	△0.0	-
11月末	10,004	△0.0	-
(期末)2022年12月9日	10,004	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,007円 期末：10,004円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 159,157,999	% 100.0
投資信託財産総額	159,157,999	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	159,157,999,197円
コール・ローン等	159,157,999,197
(B) 負債	-
(C) 純資産総額(A - B)	159,157,999,197
元本	159,095,941,234
次期繰越損益金	62,057,963
(D) 受益権総口数	159,095,941,234口
1万口当り基準価額(C/D)	10,004円

*期首における元本額は147,676,216,454円、当作成期間中における追加設定元本額は146,804,060,770円、同解約元本額は135,384,335,990円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック	947,268円
ダイワ/ミレーアセット・インド株式ファンド - インドの匠	29,910,270円
ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり)	998円
ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし)	998円
US短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型)	102,434円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり)	39,849円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型)	3,985円
- ロボテック (年1回) (為替ヘッジあり)	
iFreeレバレッジ S&P500	10,791,948,720円
iFreeレバレッジ NASDAQ100	75,953,937,119円
クリーンテック株式ファンド (資産成長型)	998,802円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (毎月決算/予想分配金提示型)	999円
世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし/毎月分配型)	1,000円
世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	499,501円
ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス	4,236,015,061円
ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス	6,234,269,565円
ダイワ上場投信-TOP1Xレバレッジ(2倍)指数	1,010,016,980円
ダイワ上場投信-TOP1Xダブルインバース(-2倍)指数	926,363,625円
ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス	7,290,053,955円
ダイワ上場投信-TOP1Xインバース(-1倍)指数	12,970,925,555円
ダイワ上場投信-JPX日経400レバレッジ・インデックス	538,317,221円
ダイワ上場投信-JPX日経400インバース・インデックス	151,994,519円
ダイワ上場投信-JPX日経400ダブルインバース・インデックス	107,919,373円
ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07	997円
ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10	997円
先進国トータルリターン戦略ファンド (リスク抑制型/適格機関投資家専用)	207,414,601円
ダイワ日本株式ベア・ファンド (適格機関投資家専用)	45,188,231円
ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S/Lトレード	4,992,083円
ブルベア・マネー・ポートフォリオ6	19,642,480,283円
ブル3倍日本株ポートフォリオ6	17,085,842,499円
ベア2倍日本株ポートフォリオ6	1,818,361,471円
ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ	42,615,540円
ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型)	9,957円
ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり)	997円
ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし)	997円
ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)	997円
ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)	997円
ダイワ/ミレーアセット亜細亜株式ファンド	4,148円
通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース	10,833円
通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース	10,788円
通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース	12,751円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回)	100,588円
ダイワ/ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド	5,813円
ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)	398,764円
ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 豪ドル・コース (毎月分配型)	99,691円
ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	398,764円
ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 米ドル・コース (毎月分配型)	398,764円

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	15,402円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イングリアイ2 - 予想分配金提示型 日本円・コース	300,273円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イングリアイ2 - 予想分配金提示型 豪ドル・コース	200,861円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イングリアイ2 - 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース	300,273円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イングリアイ2 - 予想分配金提示型 米ドル・コース	1,999,177円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イングリアイ2 - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース	505,900円

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,004円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 48,809,986円
支払利息	△ 48,809,986
(B) 当期損益金(A)	△ 48,809,986
(C) 前期繰越損益金	101,772,030
(D) 解約差損益金	△ 77,894,524
(E) 追加信託差損益金	86,990,443
(F) 合計(B + C + D + E)	62,057,963
次期繰越損益金(F)	62,057,963

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。



ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)
ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)
 第16期 (決算日2023年7月18日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
商品分類	追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)	
信託期間	2023年8月17日まで (信託設定日：2015年8月20日)	
運用方針	① ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債、優先証券) * に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を旨として運用を行います。 * C o C o 条項が付帯されているものを含みます。 ② マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高度に維持します。 ③ マザーファンドにおけるハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIsに指定された金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行する銘柄を中心に投資を行います。 ④ ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。	
	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をめざします。	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主運用対象	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (適格機関投資家専用)	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	世界の金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債、優先証券) * を主要投資対象とします。 * C o C o 条項が付帯されているものを含みます。
組入制限	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (適格機関投資家専用)	① 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ② 株式への実質投資割合には、制限を設けません。
	ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	① 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ② 株式への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。 ② 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③ 留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「投資態度」に基づいて運用を行います。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)」 「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」は、このたび第16期の決算を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント
 お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			ハイブリッド証券		債券先物比率	純資産額
		税金	み騰	期中落	優先株組入比率	債券組入比率		
12期 (2021年7月19日)	円 10,356	円 216	% 3.4	% -	% 97.1	% -	百万円 3,301	
13期 (2022年1月18日)	10,138	209	△ 0.1	1.4	95.5	-	3,022	
14期 (2022年7月19日)	8,848	217	△10.6	3.7	96.0	-	2,397	
15期 (2023年1月18日)	8,903	226	3.2	2.4	91.0	-	2,313	
16期 (2023年7月18日)	7,667	210	△11.5	-	-	-	1,779	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	ハイブリッド証券		債券先物比率	債券率
			優先株組入比率	債券組入比率		
(期首) 2023年1月18日	円 8,903	% -	% 2.4	% 91.0	% -	% -
1月末	9,026	1.4	2.4	89.8	-	-
2月末	8,866	△ 0.4	2.5	97.4	-	-
3月末	7,705	△13.5	2.8	92.0	-	-
4月末	7,816	△12.2	2.9	94.8	-	-
5月末	7,803	△12.4	2.9	97.6	-	-
6月末	7,839	△12.0	-	97.7	-	-
(期末) 2023年7月18日	7,877	△11.5	-	-	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークについて

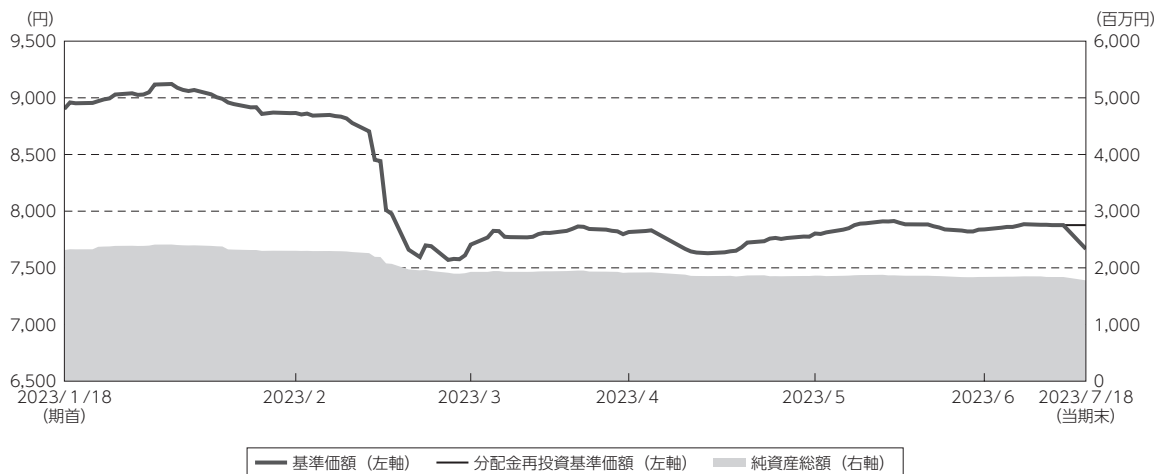
当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2023年1月19日～2023年7月18日）



期首：8,903円
 期末：7,667円（既払分配金（税込み）：210円）
 騰落率：-11.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2023年1月18日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

（注）上記期末基準価額は、分配落ち後の価額を表示いたします。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前期末比11.5%の下落*となりました。

*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入

<値下がり要因>

- ・為替ヘッジ・コスト
- ・保有するハイブリッド証券の価格下落

投資環境

（2023年1月19日～2023年7月18日）

当期のハイブリッド証券市場は、前期末に比べて下落しました。

期初から2023年3月中旬にかけては、欧米の金融不安を背景とするリスクオフの流れからスプレッドは急拡大しました。その後期末にかけては、米国の中堅銀行の破綻や米国連邦政府の債務上限問題への警戒感からスプレッドがやや拡大する局面があったものの、米国の債務上限問題が解決したことや欧州域内のインフレ指標が鈍化したことなどを背景に、スプレッドはおおむね縮小基調で推移しました。

証券種別では、優先証券（従来型）がやや上昇した一方、CoCo債が最も下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2023年1月19日～2023年7月18日）

<当ファンド>

当ファンドはA Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をめざしました。

マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当ファンドは期を通じてほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

<マザーファンド>

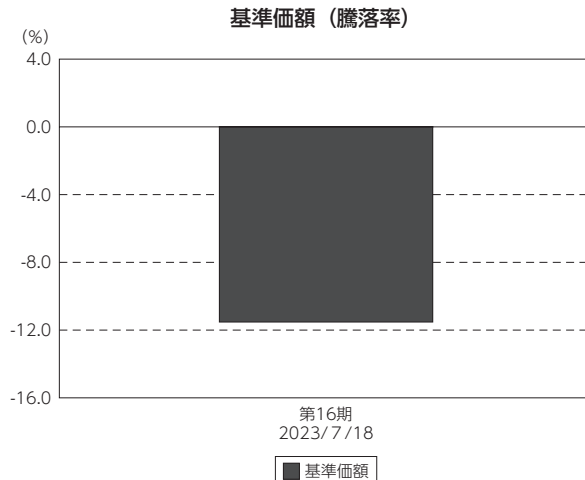
世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

なお、2023年7月以降は、償還にむけて組入銘柄の売却を行いました。当期末時点で組入銘柄のすべての売却が完了しております。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2023年1月19日～2023年7月18日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

（2023年1月19日～2023年7月18日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、210円（1万口当たり、税込み）としました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行いました。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第16期
	2023年1月19日～ 2023年7月18日
当期分配金	210
（対基準価額比率）	2.666%
当期の収益	199
当期の収益以外	10
翌期繰越分配対象額	729

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 （注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 （注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

<当ファンド>

当ファンドは、2023年8月17日に償還いたします。

<マザーファンド>

マザーファンドは、2023年8月16日に償還いたします。

○1万口当たりの費用明細

（2023年1月19日～2023年7月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 24 (22) (0) (1)	% 0.289 (0.273) (0.003) (0.014)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (優 先 株)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	2 (0) (2) (0)	0.022 (0.003) (0.019) (0.000)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	26	0.311	
期中の平均基準価額は、8,175円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年1月19日～2023年7月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設		定		解		約	
		□	数	金	額	□	数	金	額
A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド			千□ 62,395		千円 89,169		千□ 407,945		千円 586,830

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年1月19日～2023年7月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年7月18日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期 首 (前期末)		当 期		末	
		□	数	□	数	評 価	額
A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド			千□ 1,530,996		千□ 1,185,446		千円 1,768,922

(注) 単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年7月18日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価	額	比	率
A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド		千円 1,768,922		% 92.9
コール・ローン等、その他		135,191		7.1
投資信託財産総額		1,904,113		100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（76,580千円）の投資信託財産総額（2,508,365千円）に対する比率は3.1%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=138.88円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年7月18日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,904,113,681
コール・ローン等	5,750,275
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	1,768,922,949
未収入金	129,440,457
(B) 負債	124,673,971
未払金	59,673,320
未払収益分配金	48,741,859
未払解約金	9,999,999
未払信託報酬	5,873,778
未払利息	15
その他未払費用	385,000
(C) 純資産総額(A - B)	1,779,439,710
元本	2,321,040,921
次期繰越損益金	△ 541,601,211
(D) 受益権総口数	2,321,040,921口
1万口当たり基準価額(C / D)	7,667円

(注) 期首元本額 2,598,889,328円、期中追加設定元本額 44,667,784円、期中一部解約元本額 322,516,191円。当期末現在における1口当たり純資産額 0.7667円。

(注) 第16期現在において純資産総額が元本を下回っており、その差額は△541,601,211円です。

○損益の状況（2023年1月19日～2023年7月18日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,800
支払利息	△ 2,800
(B) 有価証券売買損益	△232,265,305
売買益	179,788,245
売買損	△412,053,550
(C) 信託報酬等	△ 6,259,690
(D) 当期損益金(A + B + C)	△238,527,795
(E) 前期繰越損益金	△239,996,448
(F) 追加信託差損益金	△ 14,335,109
(配当等相当額)	(27,592,356)
(売買損益相当額)	(△ 41,927,465)
(G) 計(D + E + F)	△492,859,352
(H) 収益分配金	△ 48,741,859
次期繰越損益金(G + H)	△541,601,211
追加信託差損益金	△ 14,335,109
(配当等相当額)	(27,666,695)
(売買損益相当額)	(△ 42,001,804)
分配準備積立金	141,693,633
繰越損益金	△668,959,735

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第16期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(46,201,884円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、収益調整金額(27,666,695円)および分配準備積立金額(144,233,608円)より分配対象収益額は218,102,187円(10,000口当たり939円)であり、うち48,741,859円(10,000口当たり210円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	210円
----------------	------

○お知らせ

該当事項はありません。

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 配 分			期 騰 落 率		ハイブリッド証券 優 先 株 債 組 入 比 率		債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	分	騰 落	率	優 先 株 債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率		
12期 (2021年7月19日)	9,911	円	円	%	8.8	%	%	%	%	百万円 825
13期 (2022年1月18日)	10,029		205		3.2	1.4	96.6		-	795
14期 (2022年7月19日)	10,317		204		4.9	3.7	95.9		-	793
15期 (2023年1月18日)	10,160		270		1.1	2.4	91.5		-	725
16期 (2023年7月18日)	9,808		250		△1.0	-	-		-	606

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	ハイブリッド証券		債 券 先 物 比 率	債 券 率
			優 先 株 債 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率		
(期 首) 2023年1月18日	円 10,160	% -	% 2.4	% 91.5	%	%
1月末	10,281	1.2	2.4	90.2	-	-
2月末	10,535	3.7	2.4	93.8	-	-
3月末	9,021	△11.2	2.8	94.3	-	-
4月末	9,247	△ 9.0	2.9	94.0	-	-
5月末	9,606	△ 5.5	2.8	94.8	-	-
6月末	10,068	△ 0.9	-	94.1	-	-
(期 末) 2023年7月18日	10,058	△ 1.0	-	-	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークについて

当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2023年1月19日～2023年7月18日）



期首：10,160円
 期末：9,808円（既払分配金（税込み）：250円）
 騰落率：-1.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2023年1月18日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

（注）上記期末基準価額は、分配落ち後の価額を表示いたします。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前期末比1.0%の下落*となりました。

*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入
- ・円安米ドル高および円安ユーロ高

<値下がり要因>

- ・保有するハイブリッド証券の価格下落

投資環境

（2023年1月19日～2023年7月18日）

当期のハイブリッド証券市場は、前期末に比べて下落しました。

期初から2023年3月中旬にかけては、欧米の金融不安を背景とするリスクオフの流れからスプレッドは急拡大しました。その後期末にかけては、米国の中堅銀行の破綻や米国連邦政府の債務上限問題への警戒感からスプレッドがやや拡大する局面があったものの、米国の債務上限問題が解決したことや欧州域内のインフレ指標が鈍化したことなどを背景に、スプレッドはおおむね縮小基調で推移しました。

証券種別では、優先証券（従来型）がやや上昇した一方、CoCo債が最も下落しました。

為替市場においては、前期末に比べて円安米ドル高および円安ユーロ高となりました。

米ドル円相場は、日本銀行（日銀）新総裁の就任会見を受けて緩和政策の早期修正の可能性が後退したことや、米連邦準備理事会（FRB）が今後の利上げを示唆したことを受け、日米金利差が拡大するとの思惑から円安米ドル高が進行しました。

ユーロ円相場は、欧州中央銀行（ECB）の利上げ姿勢が変わらない中、日銀が緩和政策を維持したことを受け、米ドル円同様、金利差拡大の思惑から円安ユーロ高が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2023年1月19日～2023年7月18日）

<当ファンド>

当ファンドはA Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については為替ヘッジを行いません。

マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当ファンドは期を通じてほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

<マザーファンド>

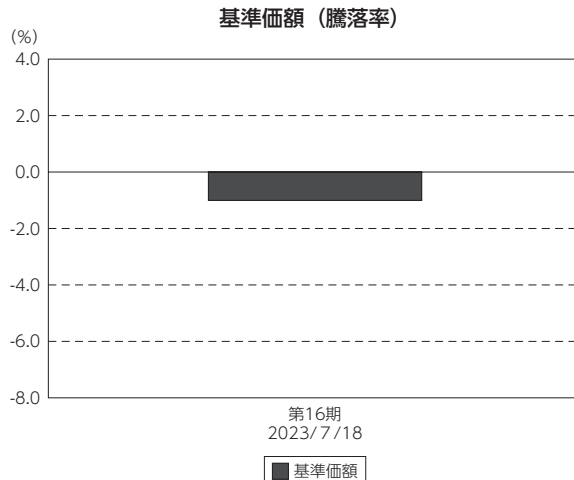
世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

なお、2023年7月以降は、償還にむけて組入銘柄の売却を行いました。当期末時点で組入銘柄のすべての売却が完了しております。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2023年1月19日～2023年7月18日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

（2023年1月19日～2023年7月18日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、250円（1万口当たり、税込み）としました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行いました。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第16期
	2023年1月19日～ 2023年7月18日
当期分配金	250
（対基準価額比率）	2.486%
当期の収益	237
当期の収益以外	12
翌期繰越分配対象額	597

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

<当ファンド>

当ファンドは、2023年8月17日に償還いたします。

<マザーファンド>

マザーファンドは、2023年8月16日に償還いたします。

○1万口当たりの費用明細

（2023年1月19日～2023年7月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	28 (27) (0) (1)	0.289 (0.273) (0.003) (0.014)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手 続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (優 先 株)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	2 (0) (2) (0)	0.019 (0.003) (0.016) (0.000)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	30	0.308	
期中の平均基準価額は、9,793円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2023年1月19日～2023年7月18日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 13,284	千円 20,064	千口 90,032	千円 134,600

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2023年1月19日～2023年7月18日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2023年7月18日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期 首（前期末）	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 483,066	千口 406,318	千円 606,309

（注）単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

（2023年7月18日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千円 606,309	% 90.0
コール・ローン等、その他	67,610	10.0
投資信託財産総額	673,919	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

（注）A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（76,580千円）の投資信託財産総額（2,508,365千円）に対する比率は3.1%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=138.88円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年7月18日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	673,919,017	
コール・ローン等	10,003	
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	606,309,014	
未収入金	67,600,000	
(B) 負債	67,538,479	
未払収益分配金	15,455,581	
未払解約金	49,999,999	
未払信託報酬	1,972,899	
その他未払費用	110,000	
(C) 純資産総額(A - B)	606,380,538	
元本	618,223,267	
次期繰越損益金	△ 11,842,729	
(D) 受益権総口数	618,223,267	口
1万口当たり基準価額(C / D)	9,808	円

(注) 期首元本額714,416,584円、期中追加設定元本額19,778,482円、期中一部解約元本額115,971,799円。当期末現在における1口当たり純資産額0.9808円。

(注) 第16期現在において純資産総額が元本を下回っており、その差額は△11,842,729円です。

○損益の状況（2023年1月19日～2023年7月18日）

項 目	当 期	円
(A) 有価証券売買損益	△ 4,104,245	
売買益	2,441,749	
売買損	△ 6,545,994	
(B) 信託報酬等	△ 2,082,899	
(C) 当期損益金(A + B)	△ 6,187,144	
(D) 前期繰越損益金	21,375,245	
(E) 追加信託差損益金	△11,575,249	
(配当等相当額)	(6,865,666)	
(売買損益相当額)	(△18,440,915)	
(F) 計(C + D + E)	3,612,852	
(G) 収益分配金	△15,455,581	
次期繰越損益金(F + G)	△11,842,729	
追加信託差損益金	△11,575,249	
(配当等相当額)	(6,903,321)	
(売買損益相当額)	(△18,478,570)	
分配準備積立金	30,011,896	
繰越損益金	△30,279,376	

(注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第16期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(14,677,474円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、収益調整金額(6,903,321円)および分配準備積立金額(30,790,003円)より分配対象収益額は52,370,798円(10,000口当たり847円)であり、うち15,455,581円(10,000口当たり250円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	250円
----------------	------

○お知らせ

該当事項はありません。



ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド

第8期（決算日2023年7月18日）

（計算期間：2022年7月20日～2023年7月18日）

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	①世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券） [*] に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目差して運用を行います。 [*] C o C o条項が付帯されているものを含みます。 ②ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIsに指定された金融機関（関連会社等を含みます。）が発行する銘柄を中心に投資を行います。 ③ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。
主要運用対象	世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券） [*] を主要投資対象とします。 [*] C o C o条項が付帯されているものを含みます。
組入制限	①外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ②株式への投資割合には、制限を設けません。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ハイブリッド証券			債券先物比率	純資産額
	円	騰落率	優先組	株比率	債券組		
4期 (2019年7月18日)	11,382	1.9%	—%	—	98.3%	—	百万円 5,489
5期 (2020年7月20日)	11,696	2.8	—	—	98.1	—	4,514
6期 (2021年7月19日)	13,582	16.1	—	—	98.1	—	4,093
7期 (2022年7月19日)	14,803	9.0	3.7	—	95.9	—	3,193
8期 (2023年7月18日)	14,922	0.8	—	—	—	—	2,375

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ハイブリッド証券			債券先物比率
	円	騰落率	優先組	株比率	債券組	
(期首) 2022年7月19日	14,803	—%	—%	3.7	95.9%	—%
7月末	14,927	0.8	—	1.4	92.9	—
8月末	15,144	2.3	—	1.4	94.5	—
9月末	14,952	1.0	—	1.5	95.9	—
10月末	15,561	5.1	—	1.4	95.2	—
11月末	15,068	1.8	—	1.5	94.1	—
12月末	14,613	△1.3	—	2.3	91.7	—
2023年1月末	15,210	2.7	—	2.4	90.2	—
2月末	15,593	5.3	—	2.4	93.7	—
3月末	13,362	△9.7	—	2.8	94.1	—
4月末	13,702	△7.4	—	2.8	93.8	—
5月末	14,241	△3.8	—	2.8	94.6	—
6月末	14,932	0.9	—	—	93.8	—
(期末) 2023年7月18日	14,922	0.8	—	—	—	—

(注) 各騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

※参考指数について
当マザーファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、参考指数を設けておりません。

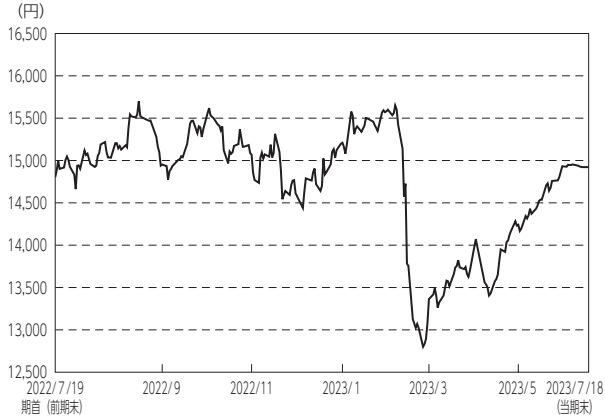
運用経過

A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下「当マザーファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

(2022年7月20日～2023年7月18日)

○期中の基準価額の推移



○基準価額等の推移

基準価額は、前期末比0.8%の上昇となりました。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入
- ・保有するハイブリッド証券の価格上昇
- ・円安米ドル高および円安ユーロ高

投資環境

(2022年7月20日～2023年7月18日)

当期のハイブリッド証券市場は、前期末に比べてやや上昇しました。

期初から2022年10月中旬にかけては、世界的な景気後退への警戒感や欧米のインフレ対応に伴う利上げ継続の見方からリスク回避志向が強まり、スプレッドは拡大しました。その後2023年2月中旬にかけては、欧米の中央銀行による利上げペース減速の期待などから、スプレッドは大きく縮小したものの、3月に入ると、欧米の金融不安を背景とするリスクオフの流れからスプレッドは急拡大しました。期末にかけては、米国の中堅銀行の破綻や米国連邦政府の債務上限問題への警戒感からスプレッドがやや拡大する局面があったものの、米国の債務上限問題が解決したことや欧州域内のインフレ指標が鈍化したことなどを背景に、スプレッドはおおむね縮小基調で推移しました。

証券種別では、いずれも上昇した中で、優先証券（従来型）が最も上昇しました。

為替市場においては、前期末に比べてやや円安米ドル高となりました。ユーロ円は円安ユーロ高となりました。

米ドル円相場は、期初は、米国長期金利の上昇を受けて日米金利差の拡大から円安米ドル高が進行しました。2022年10月下旬から2023年2月中旬にかけては、日本銀行（日銀）による為替介入や長期金利の許容変動幅拡大の発表を受けて円高米ドル安に転じたものの、その後米連邦準備理事会（FRB）が今後の利上げを示唆したことを受け、日米金利差が拡大するとの思惑から再び円安米ドル高が進行しました。

ユーロ円相場は、欧州中央銀行（ECB）の利上げ姿勢が変わらない中、日銀が緩和政策を維持したことを受け、米ドル円同様、金利差拡大の思惑から円安ユーロ高が進行しました。

運用概況

(2022年7月20日～2023年7月18日)

当マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

なお、2023年7月以降は、償還にむけて組入銘柄の売却を行いました。当期末時点で組入銘柄のすべての売却が完了しております。

今後の運用方針

当マザーファンドは、2023年8月16日に償還いたします。

○1万口当たりの費用明細

(2022年7月20日～2023年7月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 有 価 証 券 取 引 税 (優 先 株)	0 (0)	0.000 (0.000)	(a)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	1 (1)	0.008 (0.008)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託財産に関する相続、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	1	0.008	
期中の平均基準価額は、14,775円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年7月20日～2023年7月18日)

ハイブリッド証券

優先株

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 86	千米ドル 204	百株 481	千米ドル 1,046

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 単位未満は切り捨て。

公社債

			買 付 額		売 付 額	
外 国	アメリカ	社債券	千米ドル 6,022		千米ドル 21,229	
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ	
	イタリア	社債券	—		280	
	オランダ	社債券	—		1,366	
	スペイン	社債券	—		1,662	
	ベルギー	社債券	—		173	
	その他	社債券	—		1,046	
	イギリス	社債券		千英ポンド —		千英ポンド 183

(注) 金額は受け渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) —印は該当なし。

○利害関係人との取引状況等

(2022年7月20日～2023年7月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年7月18日現在)

ハイブリッド証券

優先株

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
MORGAN STANLEY Pfd	209	—	—	—	金融サービス
WELLS FARGO & CO Pfd	186	—	—	—	銀行
合 計	株 数 ・ 金 額	395	—	—	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	—	<-%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) ー印は該当なし。

○投資信託財産の構成

(2023年7月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 2,508,365	% 100.0
投資信託財産総額	2,508,365	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (76,580千円) の投資信託財産総額 (2,508,365千円) に対する比率は3.1%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=138.88円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年7月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,584,436,789
コール・ローン等	2,508,329,909
未収入金	76,071,145
未収配当金	35,735
(B) 負債	209,278,899
未払金	76,572,238
未払解約金	132,700,000
未払利息	6,661
(C) 純資産総額(A - B)	2,375,157,890
元本	1,591,765,155
次期繰越損益金	783,392,735
(D) 受益権総口数	1,591,765,155口
1万口当たり基準価額(C / D)	14,922円

(注) 期首元本額 2,157,183,314 円、期中追加設定元本額 286,714,428円、期中一部解約元本額852,132,587円。当期末現在における1口当たり純資産額1.4922円。

(注) 当期末現在において、当親投資信託受益証券を組み入れているベビーファンドの組入元本額の内訳は、下記の通りです。

<組入元本額の内訳>

A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)	(適格機関投資家専用)	1,185,446,287円
A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)	(適格機関投資家専用)	406,318,868円

○お知らせ

該当事項はありません。

○損益の状況 (2022年7月20日～2023年7月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	165,579,065
受取配当金	3,243,590
受取利息	162,434,781
支払利息	△ 99,306
(B) 有価証券売買損益	△ 149,709,167
売買益	229,768,910
売買損	△ 379,478,077
(C) 信託報酬等	△ 234,779
(D) 当期損益金(A + B + C)	15,635,119
(E) 前期繰越損益金	1,036,144,537
(F) 追加信託差損益金	138,382,492
(G) 解約差損益金	△ 406,769,413
(H) 計(D + E + F + G)	783,392,735
次期繰越損益金(H)	783,392,735

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。